

# がん教育に関する実態調査結果

I 対象者：小学校 834校 中学校 407校 高等学校 185校  
(私立含む)

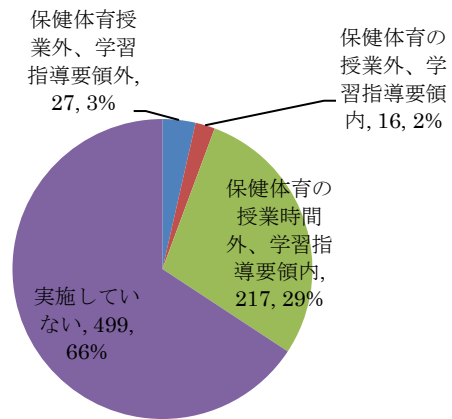
II 回収数 (率)：

小学校	769校	有効回答数	759校 (91.0%)
中学校	367校	有効回答数	355校 (87.2%)
高等学校	153校	有効回答数	151校 (81.6%)

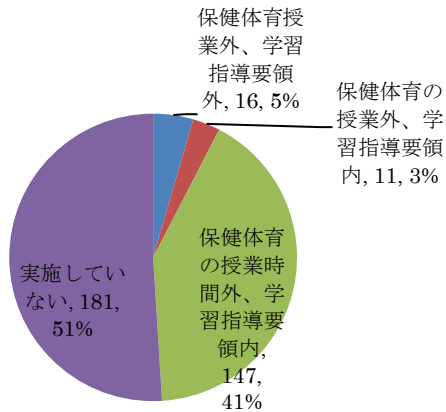
III 回答結果

問1 あなたの所属する学校では、「がん」に関する教育を実施していますか。

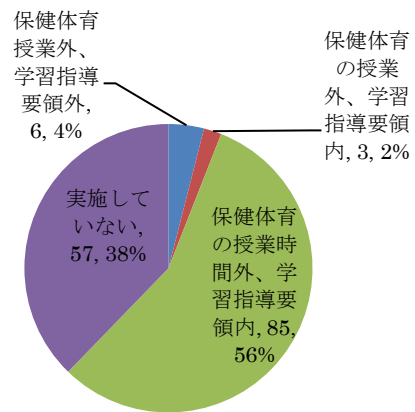
## 小学校



## 中学校



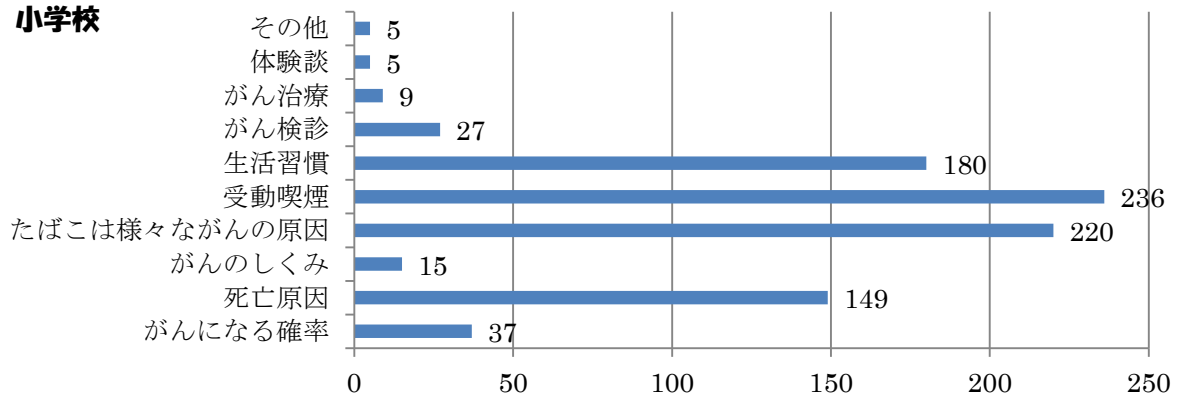
## 高等学校



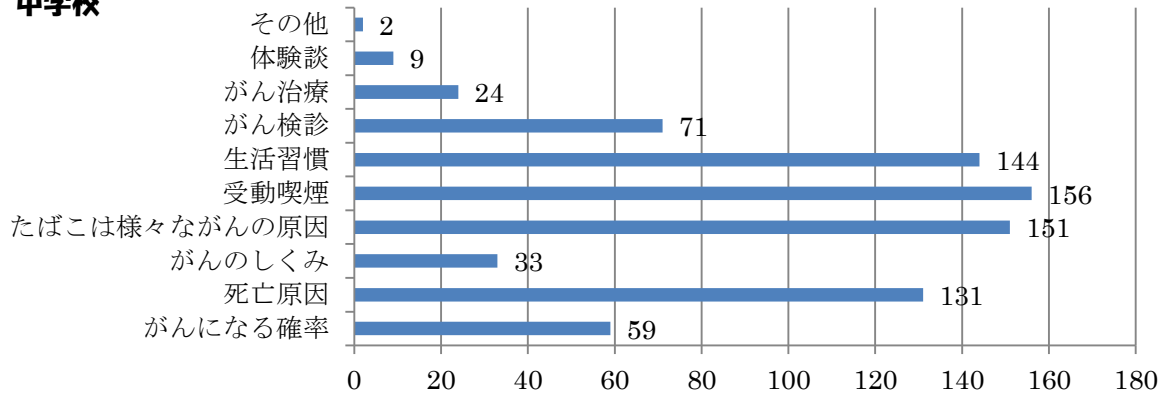
問2 がん教育を実施している学校にお聞きします。

【1】 教育の内容はどのようなものですか。(複数回答可)

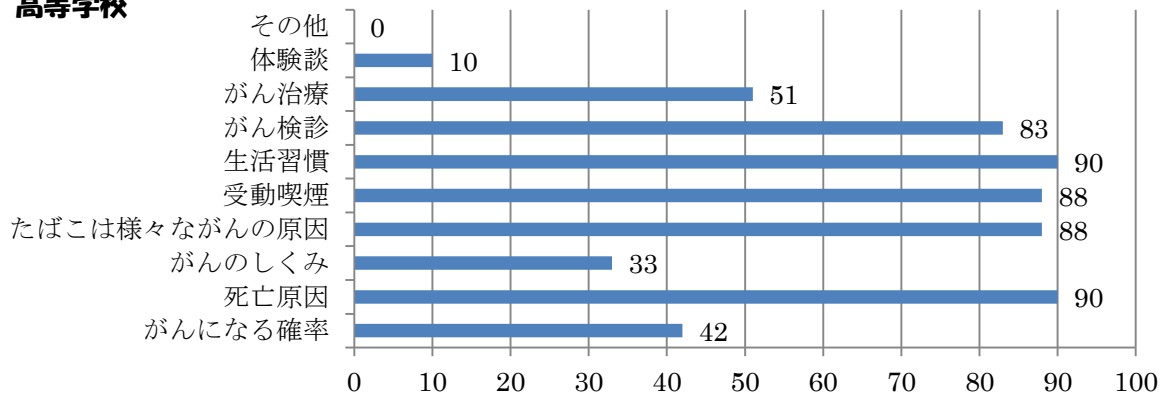
## 小学校



### 中学校

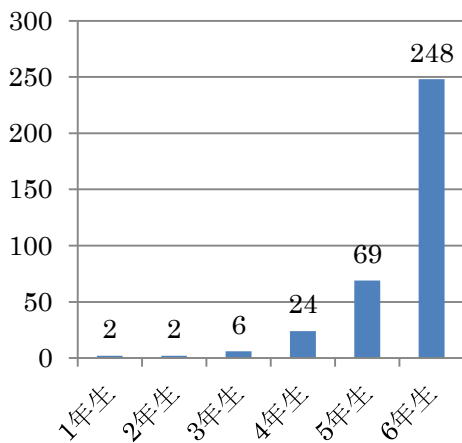


### 高等学校

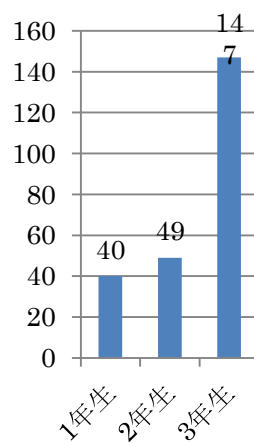


### 【2】 がん教育を実施しているのは何年生ですか。（複数回答可）

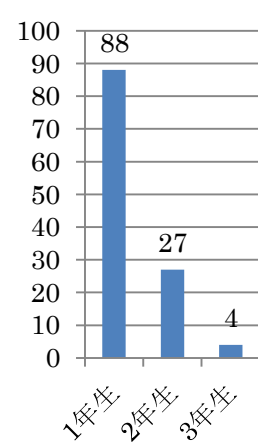
#### 小学校



#### 中学校

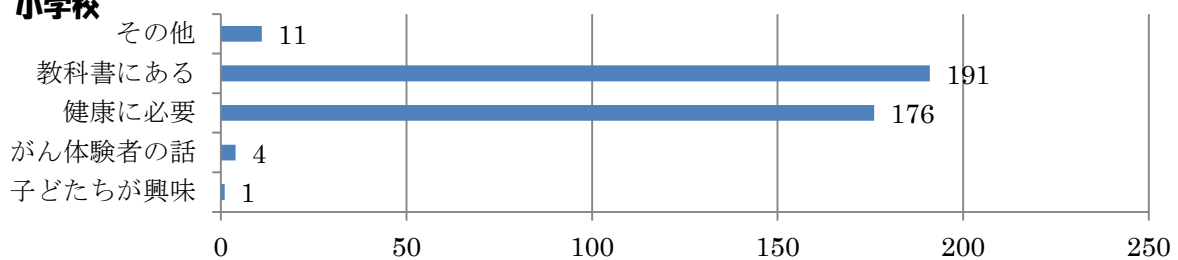


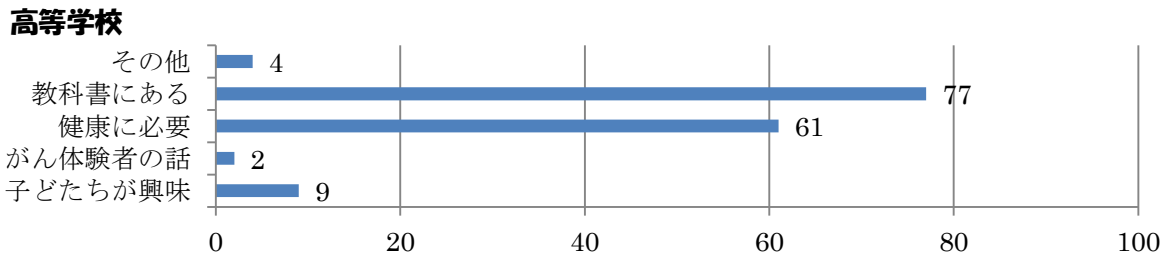
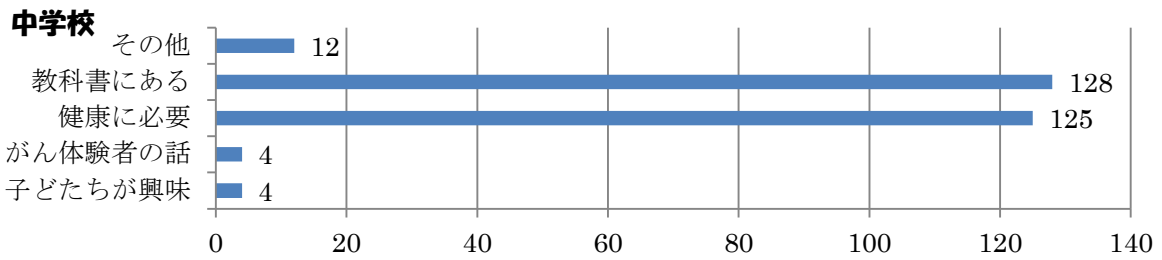
#### 高等学校



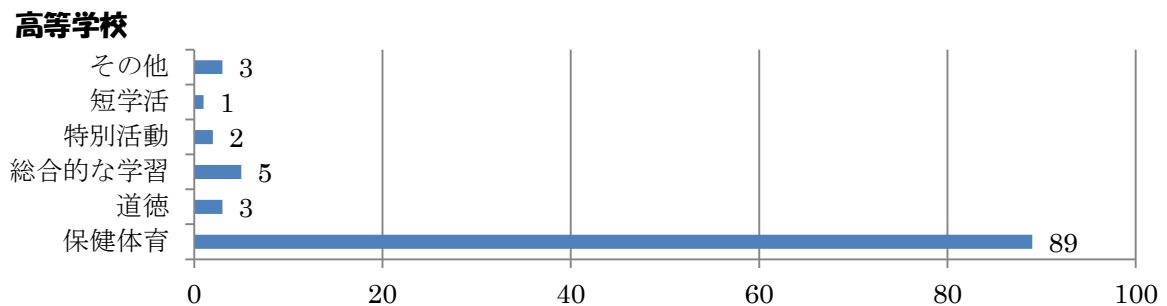
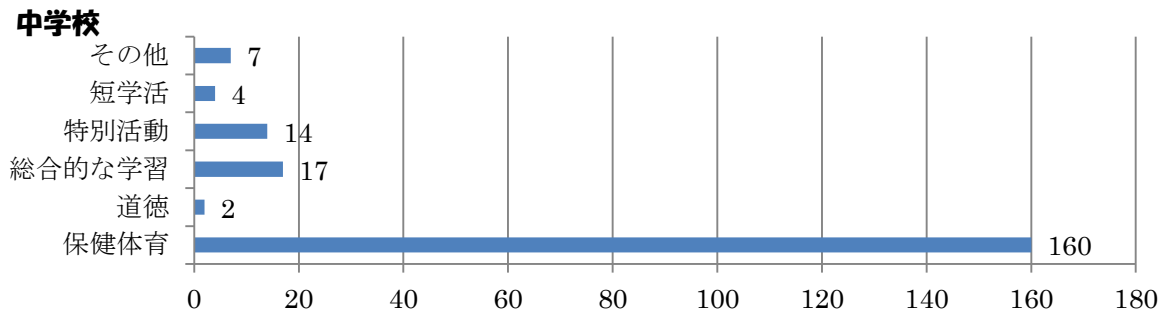
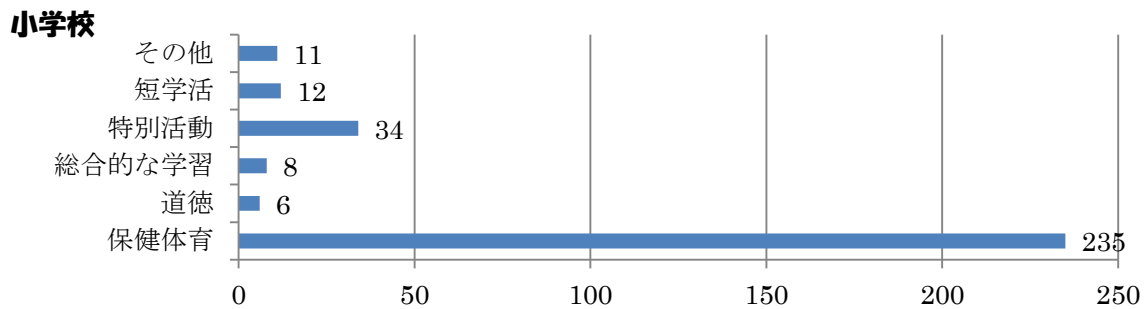
### 【3】 がん教育を実施する理由は何ですか。（複数回答可）

#### 小学校



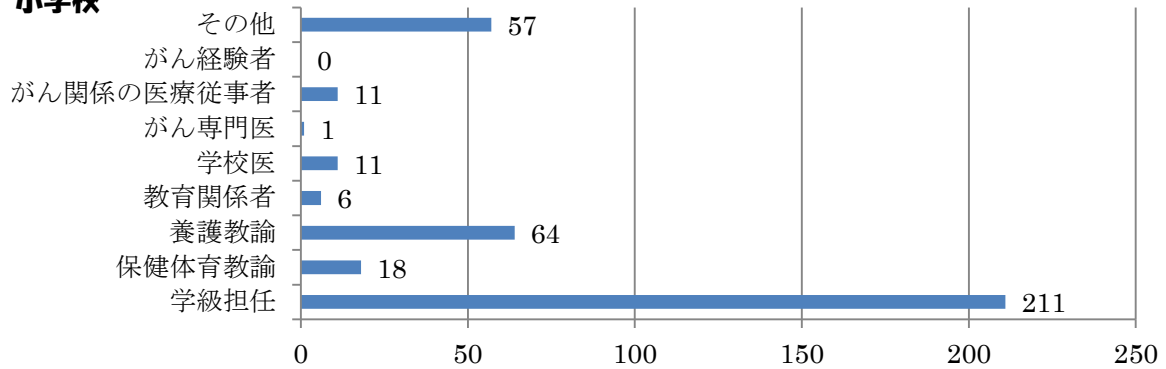


【4】 がん教育の実施枠はどのようなものですか。（複数回答可）

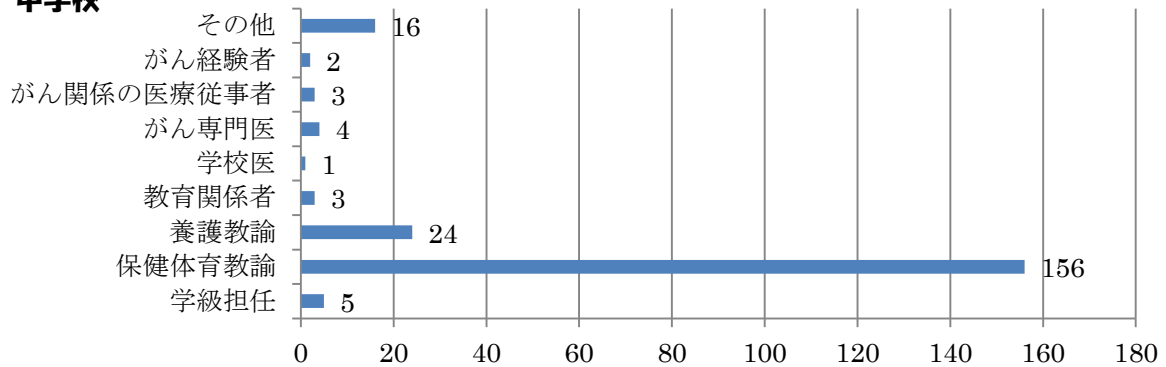


【5】 がん教育の講師はどなたですか。（複数回答可）

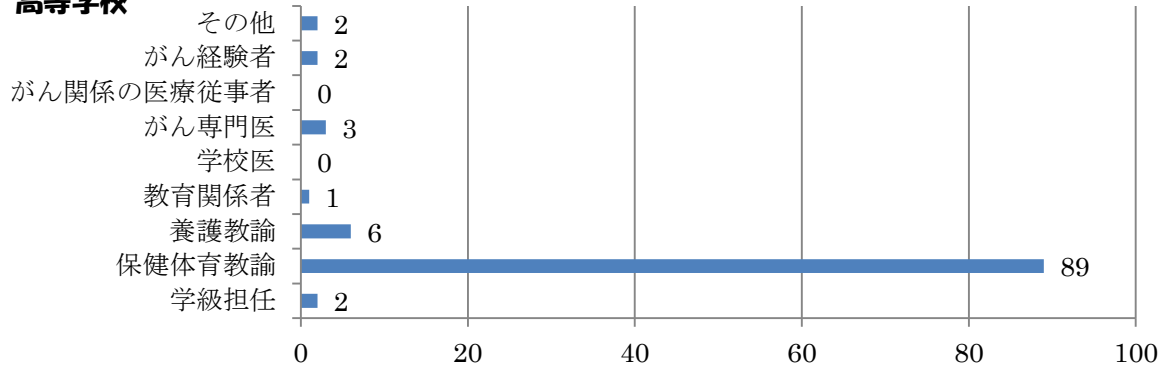
小学校



中学校

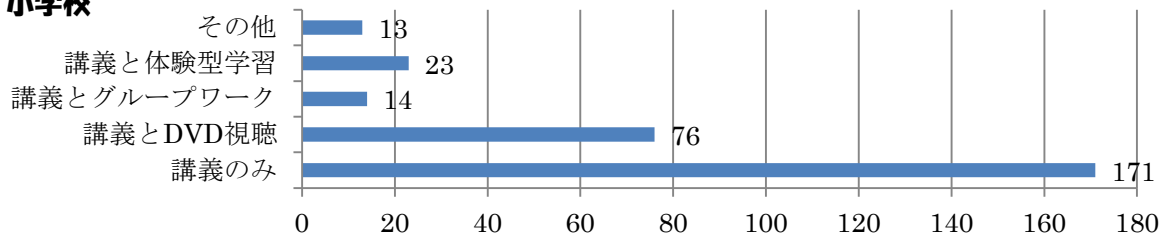


高等学校

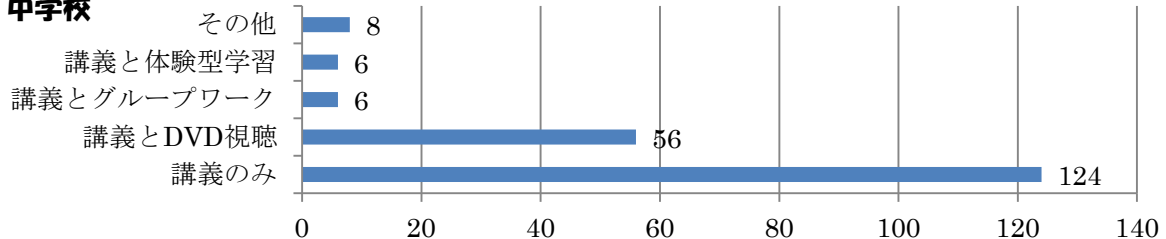


【6】 がん教育の実施方法はどのようなものですか。（複数回答可）

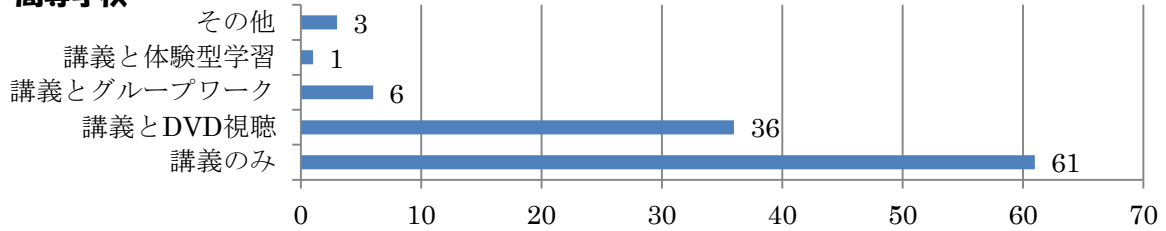
小学校



中学校

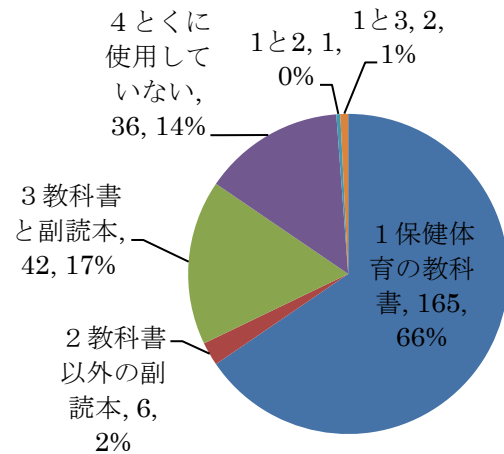


### 高等学校

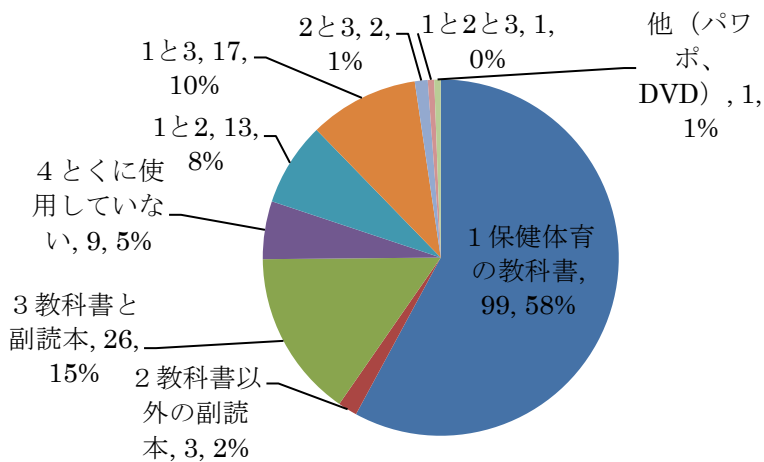


### 【7】 がん教育の教材として、 小学校

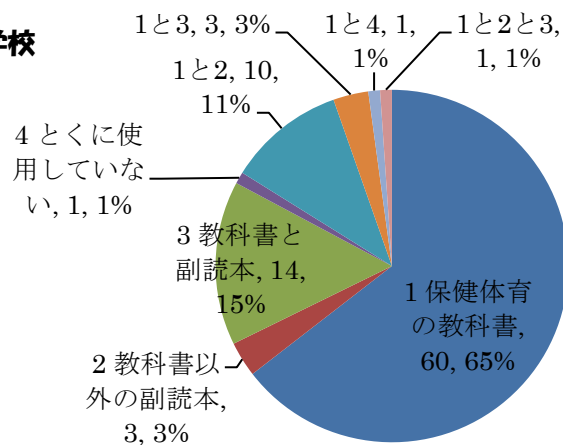
どのようなものを使用していますか。



### 中学校



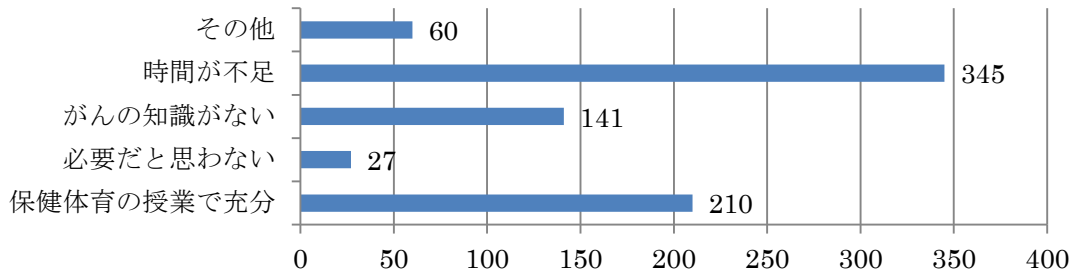
### 高等学校



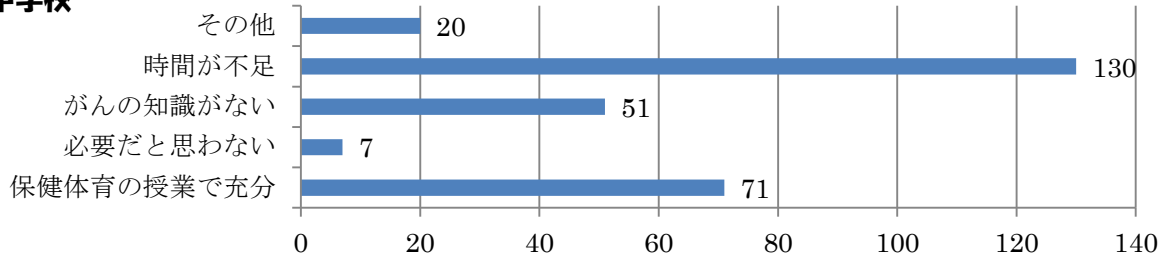
問3 がん教育を実施していない学校にお聞きします。

【1】 がん教育を実施していない理由は何ですか。（複数回答可）

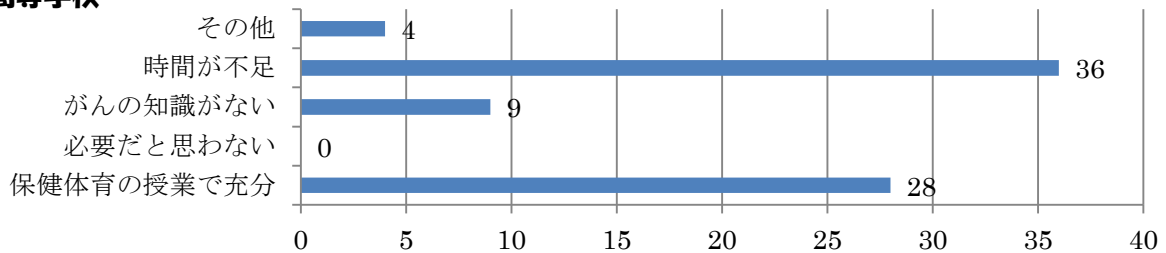
**小学校**



**中学校**



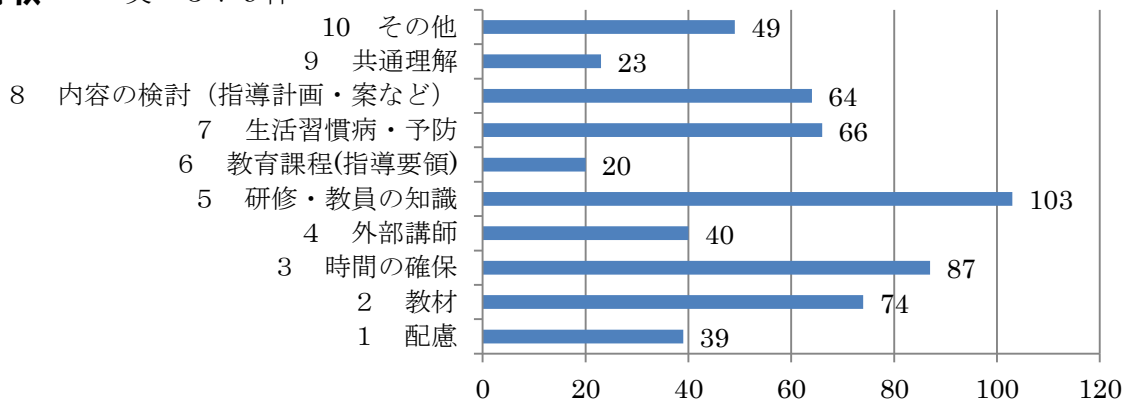
**高等学校**



【2】 貴校においてがん教育を実施するとしたら、どのようなことが必要だと思いますか。【自由記載】

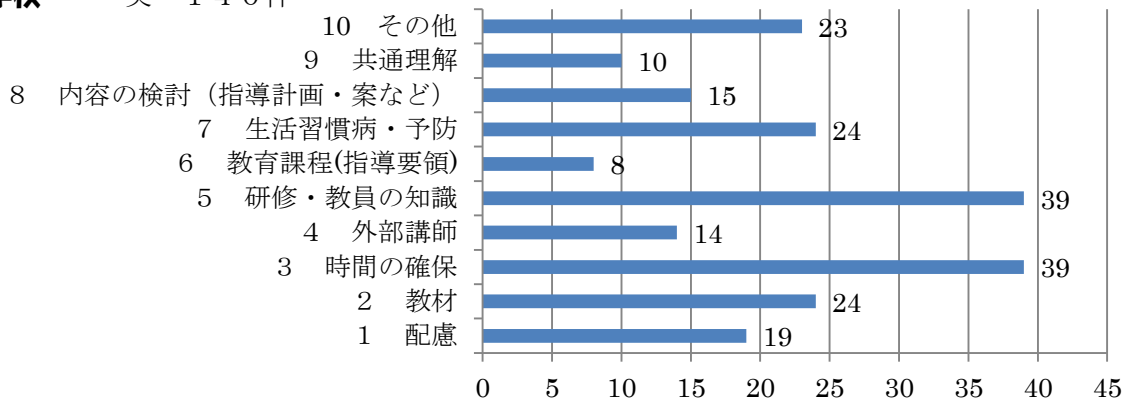
**小学校**

実 379件

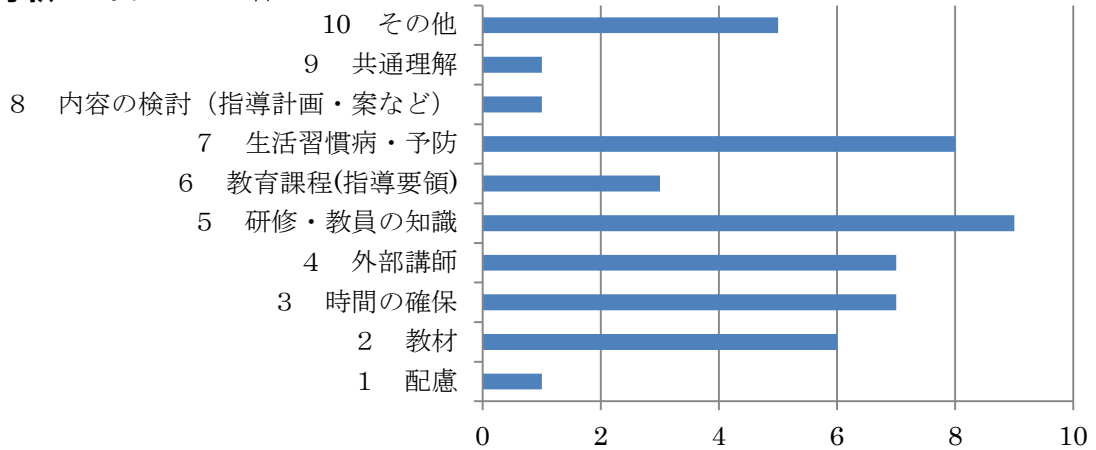


**中学校**

実 140件

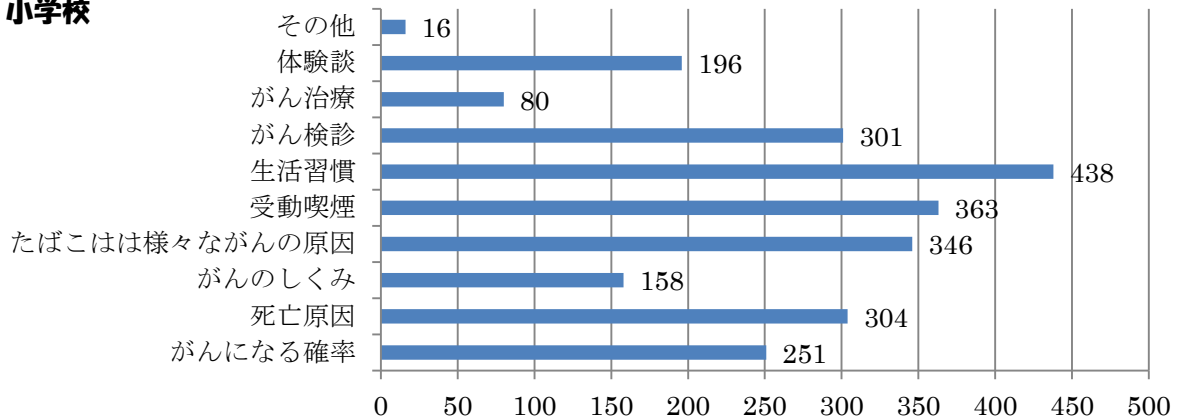


**高等学校** 実 40件

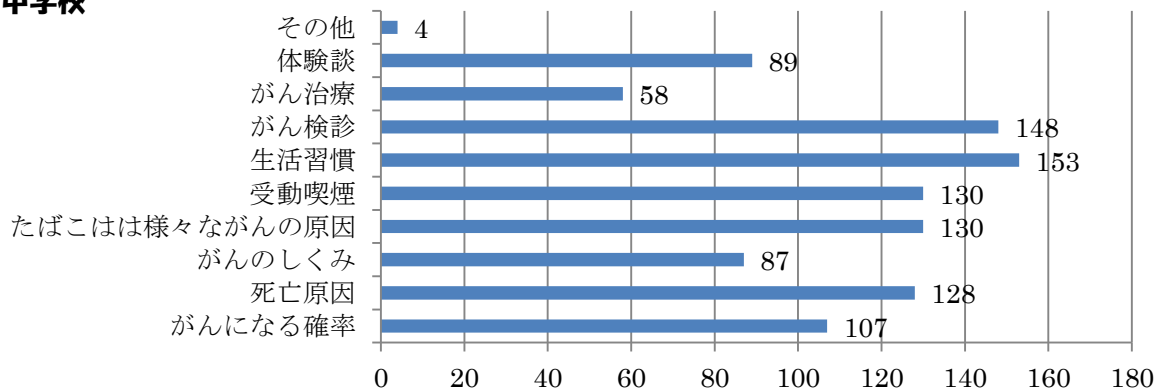


【3】 子どもへがん教育を実施するとしたら、内容としてどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

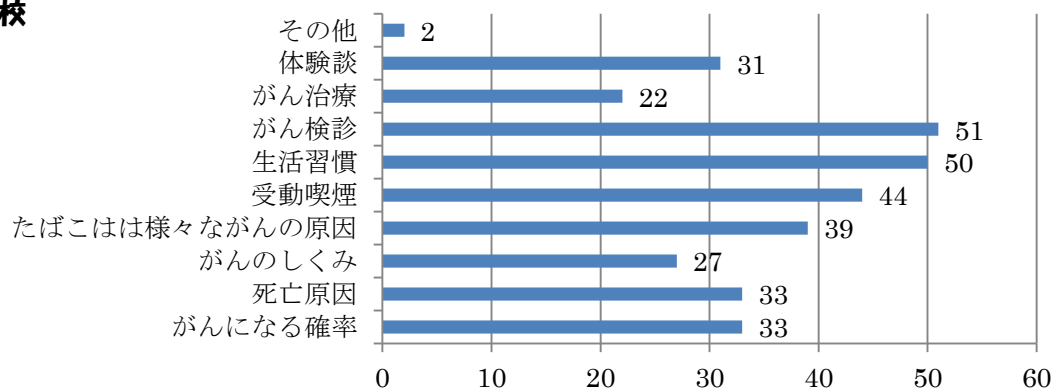
**小学校**



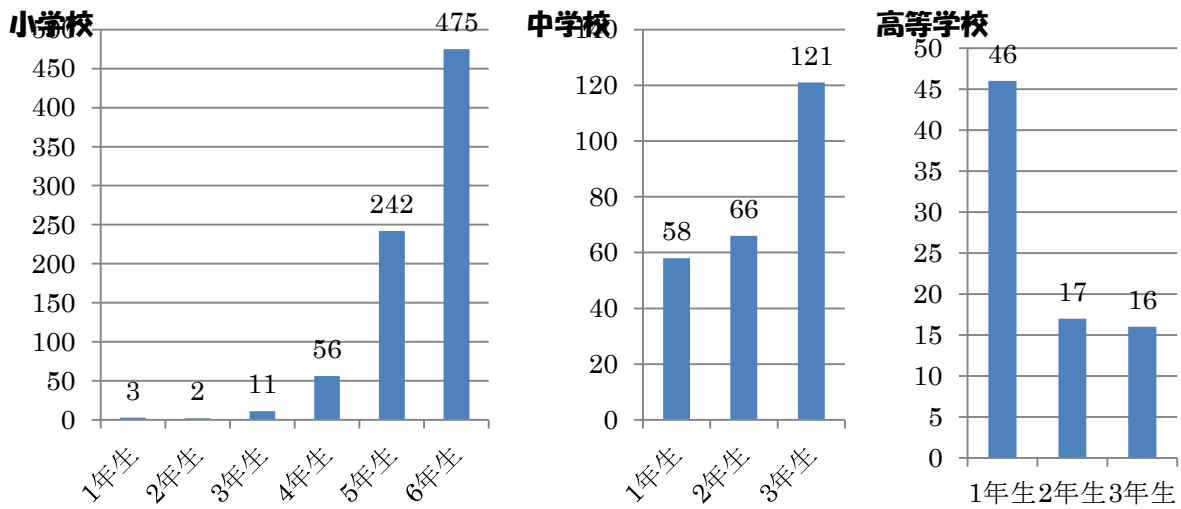
**中学校**



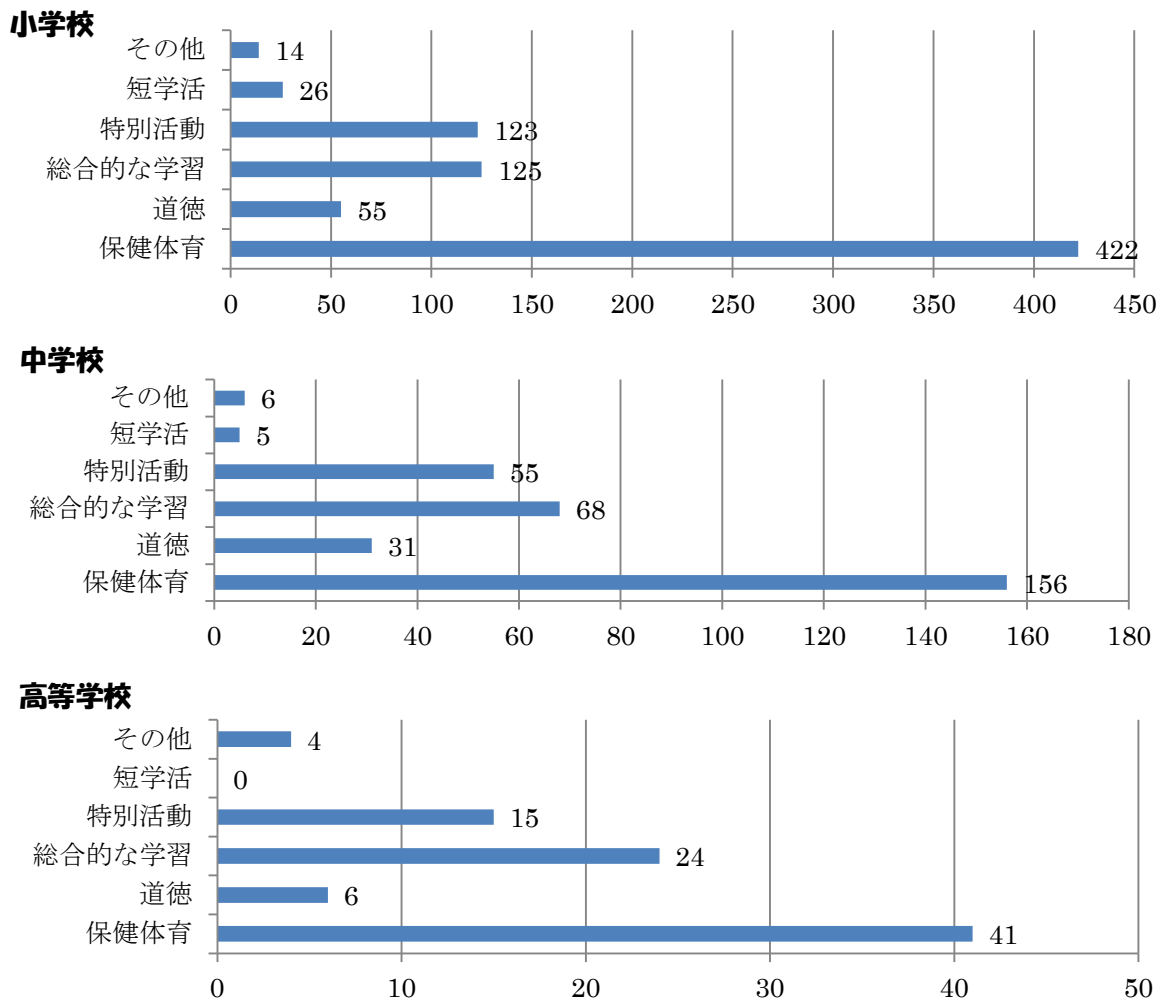
**高等学校**



【4】 がん教育を実施するとしたら、対象者は何年生が適当だと思いますか。  
(複数回答可)



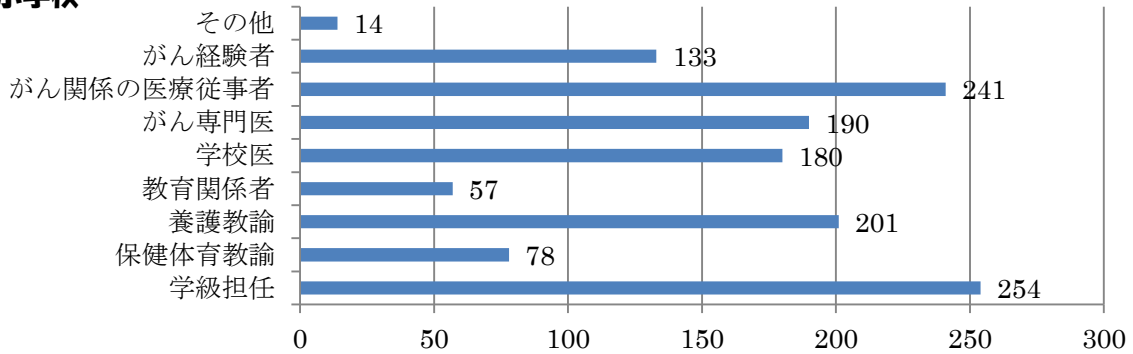
【5】 がん教育をするとしたら、どの実施枠が適当だと思いますか。  
(複数回答可)



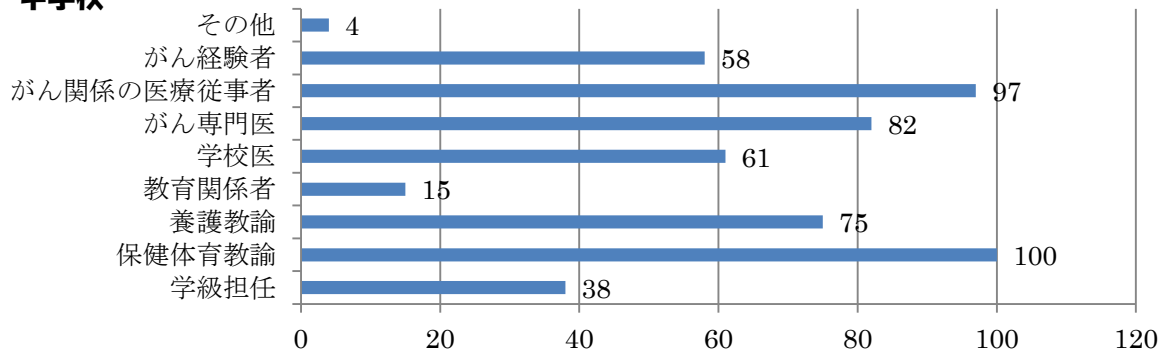


【6】 子どもたちのがん教育を実施するとしたら、どなたが講師として適当だと思いますか。（複数回答可）

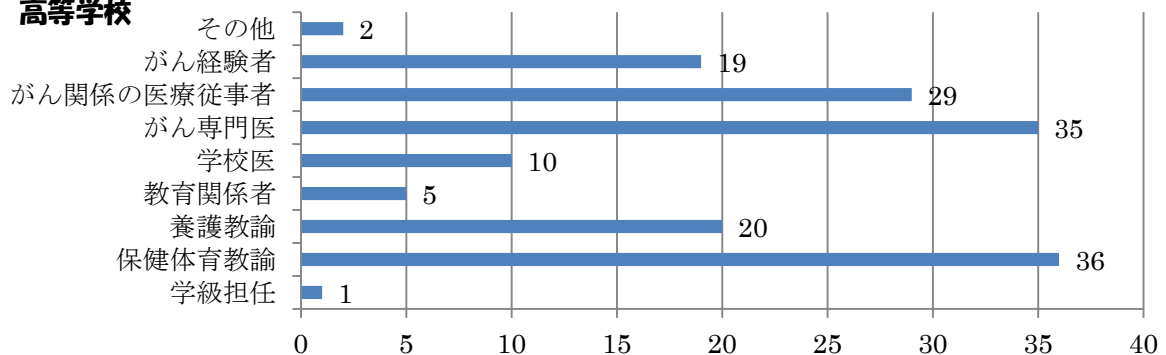
**小学校**



**中学校**

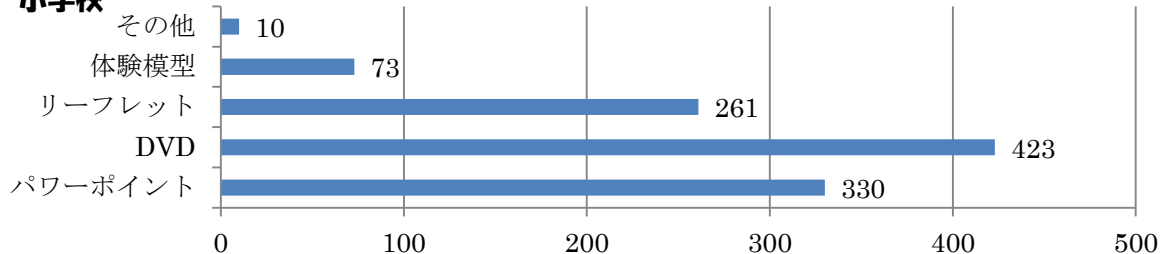


**高等学校**

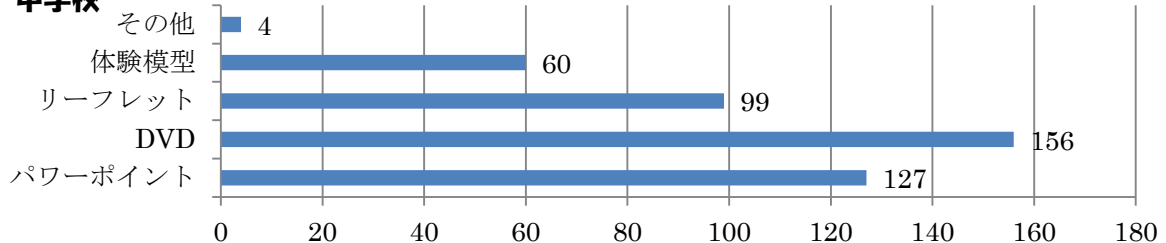


【7】 がん教育を実施するとしたら、教材としてどのようなものがあるとよいと思いますか。（複数回答可）

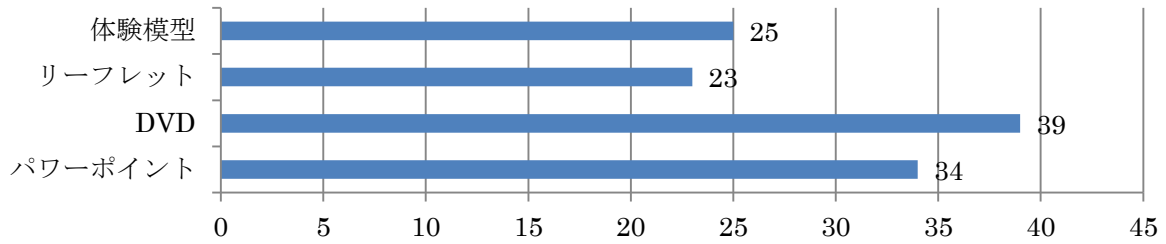
**小学校**



**中学校**

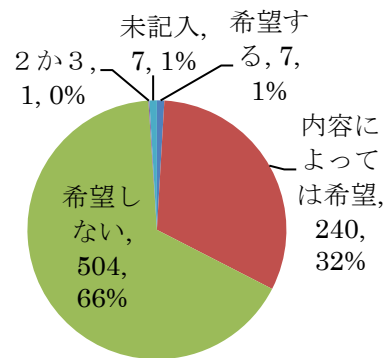


### 高等学校

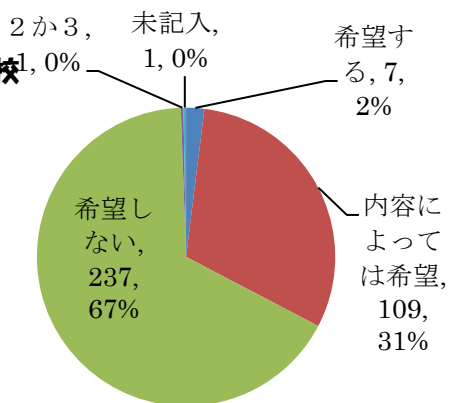


問4 今後千葉県では、がん対策推進計画に基づき、がん教育を推進していく予定ですが、モデル事業を実施することになった場合、実施を希望しますか。

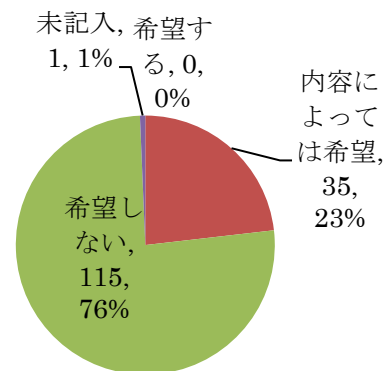
### 小学校



### 中学校



### 高等学校



問5 その他、ご意見等【自由記載】

小学校	実144件
中学校	実66件
高等学校	実13件

問5 その他、ご意見等【自由記載】

小学校 実 144件 延 181件

カテゴリー	御意見
本人家族ががんの場合の配慮	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 病気が身近になった分、子どもたちの家族などに患者も多くいるはずなので、細かな配慮が必要である。</li> <li>2 家族にがん患者がいたり、本人自身がんにかかるリスクが高い子がいたりする場合、教育上の配慮が必要だと思います。</li> <li>3 今まで教科書程度でしか授業をしていませんが、親をがん又は病気で失った子に同じ病名での授業はつらいものがあるようです。小学校ではあまり深く授業で扱うのは考えてしまいます。</li> <li>4 児童、生徒、職員でがん経験者がいる場合、配慮が必要だと考える。</li> <li>5 家族の中にがん患者やがんで亡くなった方を持つ子もいるので難しい課題。</li> <li>6 家族・友人等にごがん患者がいることを想定して絶望感や恐怖心を与えない指導にする。</li> <li>7 児童・生徒の家族にごがんを患っている、亡くなっている場合もあるため、内容や方法に配慮が必要。</li> <li>8 がんで親を亡くした子の心のケアを考える必要がある。</li> <li>9 がん＝死の病としない配慮が必要だと思いますし、身内にごがん患者やがん死の方がいないかどうか、把握しなくてはいけないと思います。</li> <li>10 子どもによっては、家族ががんを患っている場合もあるため、譲歩や発言には十分に配慮が必要だと思います。</li> <li>11 児童本人や近親者にごがんの闘病中や亡くなった人がいることも考え、配慮が必要。また遺伝性のがんやAML等原因のわからないものがあるので、ひとくくりでがん教育といっても難しく、クラス児童の背景を考えての指導になるのでは…と考える。</li> <li>12 小学校においては家族をがんで亡くすとか友だちががんになる等、こころのケアに重点を置くことも重要ではないか。</li> <li>13 がんは身近な疾患で寛解し社会生活を営んでいる人がたくさんいる。家族の中にも患者はいると考え指導する。特別視せずに「疾患」のひとつとしてとらえていけばいいのではないか。</li> <li>14 遺伝的要素もあるのでその点の配慮（悪い生活をしている人が病気になるという断定にならないように）</li> <li>15 御家族（親、身近な人）をがんで亡くされている子たちがいるかもしれないという前提で、その子たちが傷つかないような内容が必要だと思います。</li> <li>16 がん教育をするうえで家族内にごがんにかかっている人や亡くなった人がいる児童の場合、心理面での配慮が必要である。</li> <li>17 子どもの家庭の状況を把握しての指導が必要だと感じる。</li> </ol>

	<p>18 死亡原因の1位であり、大切なことだと思いますが、子ども自身で経験している子また家族が患っている子またはそれらが原因で亡くなっている人など様々なので、正直自分が指導するとなったら、サラッと扱うことしかできず躊躇します。</p> <p>19 小学校では小児がんの兼ね合いもあり、取り扱いが難しい。</p> <p>20 小児がんで入退院を繰り返し(入院時は院内学級に転校)あまり登校できない児童(医師が許可した時に登校)が在籍していたことがあり、そのような状況の時は、がん教育の内容、対象学年等、非常に配慮が必要になると思います。また、親ががんで亡くなった児童がいて、その場合も内容に気を遣うことになると思います。</p> <p>21 子どもの中には、家族をがんで亡くしているケースもあり、扱いが難しい。</p> <p>22 がんと闘っている御家族を持つ子どもたちに十分配慮された教育内容であることを希望いたします。</p> <p>23 「がん」により親や自分の周りにいた人をなくした子供もいることを思うと、小学生では難しい内容である。</p> <p>24 学校により、小児がん患者が在籍していたり、家族等身近な存在でがん患者がいる場合もあり、様々な配慮が必要な場合もあるかと思えます。</p> <p>25 保護者ががんと患っている子どもへの配慮。</p> <p>26 児童の家族や職員などに該当者がいる場合は、十分に配慮する必要がある。</p> <p>27 すでに家族に経験者を抱えている場合があるので、そうした子への十分な配慮。</p>
教材	<p>28 小学校段階では、医療の専門家にできるだけわかりやすい資料を作成していただきたい。</p> <p>29 がん教育に向けて、指導資料等が配布されるとうれしい。</p> <p>30 初めての試みですので、次年度の実施は未定です。小学校6年生の発達段階にあった教材等の情報をいただくと幸いです。</p> <p>31 3-4時間で完結するような教材や講話が聞けると総合的な学習の時間を使い3年生ぐらいから計画的に児童を学習させていけるのではないかと。</p> <p>32 外部講師を依頼したいところですが、良い資料や教材があれば活用したい。</p> <p>33 がん教育を推進していく上で、教材の配布や実践事例等の資料が配布されると各校、実施しやすくなるのではないかと思います。</p>
時間	<p>34 がん教育の必要性を感じないわけではないが、「食育」「性教育」「薬物乱用防止教育」「心の健康」等、今でさえ学校で取り組むよう指導されていることが多くて時間がないうち、教員の理解を得て小学校でがん教育を推進していくのは現実的ではないと思う。</p> <p>35 今回の調査は「がん」について、保健等の授業の一部で取り扱っているということで記載しました。「がん教育」だけの授業で時間を確保するのは厳しい状況です。</p> <p>36 がん教育は必要なことと思われませんが、学校教育の現場は、教育指導要領の改正により、授業時間数の確保が難しく、取り扱う行事も多く、かなり厳しい現状です。</p> <p>37 大事なことなので、できる範囲で今後も取り組んでいきたいと思っています。</p>

	<p>38 がん教育はとても大切なことだと思うが、授業時数の確保が難しいのが現状。そこから改善していかないと難しい。</p> <p>39 キャリア教育、食育等、学校現場では指導すべき内容が増える一方である現状を考慮してがん教育を推進していただきたい。</p> <p>40 がん教育はとても大切だと思いますが、現場は日々忙しい。現状で実施する側が負担にならない方法をぜひ考えていただきたいと思う。</p> <p>41 がん教育という言葉は初めて聞きました。学校現場に様々な指導内容が入り、時間確保が大変な中、がん教育をすぐに学校の中に入れていくことは難しい。</p> <p>42 指導しなければいけないことが多くなり過ぎ、現場には戸惑いがあります。現在抱える健康課題への取り組みを確実に行うだけでも精一杯だと感じます。</p> <p>43 今後、がん教育は重要になっていくと思う。しかし、学校現場では年々教えることが増え、時間が不足している。あまり、負担にならないようお願いしたい。</p> <p>44 「がん」について授業で扱うならば、高学年でないと難しいと思うが、「がん」についての授業で1時間、時間を使う余裕がないのが現状です。</p> <p>45 正しい知識を持たせたいががんの予防や怖さをのりかえる指導を行うには、たくさんさんの時間が必要だと思われます。</p> <p>46 がん予防教育は、とても大切なことだと思いますが、現状を考えると時間数が足りません。</p> <p>47 がん教育のみで授業時間を確保するのは難しいように感じるが、「生活習慣病予防」とした中で触れることは大切だと思う。</p> <p>48 学校では時間の確保が問題になってくると思われる。</p> <p>49 「がん」についてのみ詳しく授業展開する時数の確保は難しいです。</p> <p>50 他の教科、指導の時間との調整（できれば短時間で）</p> <p>51 現在の保健学習の時数で新たにがん教育で時間を取るには無理があると思う。</p>
外部講師	<p>52 指導者についても精選すべき。</p> <p>53 保護者に向けた講話(専門講師による)があるといいと思う。児童に向けては難しくなりすぎる可能性がある。現在の保健教育の内容でもたくさんあるので、その中からがんだけを取り上げるより、もっと身近な内容を充実させる方が先に行いたいことである。</p> <p>54 専門的教育のため外部講師は有効だが、予算がないため実現は難しい。</p> <p>55 医師や研究者などの専門家を外部講師として話をしてもらっても難しすぎて用をなさない。</p> <p>56 3年前「防煙教室」で内科の医師を講師にお願いしたのがよかった(パワーポイント、リーフレット、模型を使用)</p> <p>57 外部講師の方に教えてもらいたいと思うが専門的な知識を持っていることと、子供にわかりやすく教えることには隔たりがあり…何をどこまで教えるのかはある程度の</p>

	<p>ガイドラインがないと始めにくい。必要性を感じる。</p> <p>58 外部講師を依頼したいところですが、良い資料や教材があれば活用したい。</p> <p>59 薬物乱用防止教室などの外部人材を招いての講義は子どもたちには深く印象に残るので、広く自分の未来を考えることができるように外部人材を活用したい。</p> <p>60 外部講師についても、学校が探すのではなく、多く紹介してもらおうようにしてほしい。</p> <p>61 養護教諭が講師をする場合もあるが、病院関係の職員や学校医の先生がよいと思われる。</p>
<p>研修・知識</p>	<p>62 教職員の研修の場が欲しいですね。</p> <p>63 県教育委員会と連携し、教育方法やがんについて、研修会等を開いていただきたい</p> <p>64 「がん教育」を推進する予定とのことですが、学校で実施するとなると私たち職員にも研修の場を設けていただきたいと思います。</p> <p>65 日本における死因の1位でありながら、保健学習においても「病気の予防」の単元で短時間しか取り上げていなかったのも、指導プログラムがあればぜひ指導に活用したい。</p> <p>66 がんによってもたくさんのタイプがあります。知識がない中、どの程度の内容の教育をしていくのか、吟味した上でないときちんと伝えることができないのではないかと心配です。</p> <p>67 医学的な詳しい内容は、教師側がもっと研修を積み重ねなければ難しいと思います。</p> <p>68 がんについて医療の進歩で不治の病から治る病気となってきていることも伝えたいです。機会があれば取り組みたいです。</p>
<p>教育課程</p>	<p>69 小学校で扱う内容としては、かなり内容を吟味しないと6年生でも難しいと思われる。</p> <p>70 がん教育を充実させたいのであれば、保健の教科書の中に記載するとよい。</p> <p>71 実施にあたり内容や方法等を各学校任せにならないようお願いします。</p> <p>72 指導の必要性を感じるが、小学生に死をテーマに集団指導することにもなりかねない。家庭の理解を得ることからスタートする必要がある。</p> <p>73 がん対策は必要なことであり、教育の必要性を感じるが薬物乱用防止教育や生活習慣病予防教育と違いもう少し成長した後が適切と考える。</p> <p>74 家族に患者がいる場合もあるため精神面を考えると小学校段階では簡単な指導にならざるを得ないと思う。</p> <p>75 中学・高等学校での実施が望ましい。</p> <p>76 死につながるイメージも強く、難しい。</p> <p>77 どんなに気をつけていても発生を防ぐことができないということも現実にはあるので、それにあらがえない部分を含め教えていくことに難しさを感じます。</p> <p>78 詳しい内容については中学校で行ったほうが理解できる。</p>

- 79 高学年は扱う内容が多いので命の大切さを教えるということで中学年で扱うことがよいのではないかと思う。
- 80 この計画をホームページで見させていただきましたが、子どもたちへの取り組み方などマニュアルがあると嬉しく思います。
- 81 小学生に対し、がん教育をどこまで教育すれば良いのか、また、しなければいけないのか、いろいろと疑問点がある。
- 82 教育課程は国が定める学習指導要領に基づき教科書を使って指導することになっている。がん教育を実施したいのであれば学習指導要領への位置づけを図り教科の指導内容としてもらいたい。何の時間に何時間実施するのか、という裏付けなく「学校の実情に合わせて、でも必ず実施」というものが学校が一番困る。やりたくても学校には教育課程外のこのことに取り組むための余剰の時間時数はない。学校教育として取り組むのであれば「学級担任が」「教科書を使って」指導するレベルのものが限界である。医師研究者など専門家に講演してもらっても難しすぎて用をなさない。
- 83 3～4時間で完結するような教材や講話が聞けると総合的な学習の時間を使い3年生ぐらいから計画的に児童を学習させていけるのではないか（※再掲・教材にも記載）
- 84 がん教育だけでなく生活習慣病や性感染症、エイズ等子供たちに学んでほしい保健の内容はたくさんあるが十分な時間の確保や保証がされていないように思われる、何をやるか学校に持ってくるだけでなくきちんと指導できる時間が確保されるようなことについても取り組んでいただきたい。
- 85 小学校段階では少し難しいのではないか。
- 86 小児がんなど身近に発生する疾病がありますが発達段階に応じた教育内容や計画が必要であると思います。
- 87 小学生に「がん」について指導することは難しい。
- 88 体育（保健体育）の事業時間内に取り入れるとしたら学習指導要領の改訂も必要になってくるのかと思います。
- 89 がん教育は小学校から行うのがいいと思います。
- 90 小学生の段階で一斉教育として行う必要性は低いと考える。
- 91 多忙(感)の中、担任が行うのであれば、負担等を考えてほしい。負担とならないシステムの確立をお願いしたい。
- 92 教育課程に余裕もない現状では生活習慣病予防の一環で触れる程度が限界なのは。
- 93 がん教育で何を一番に伝えるのかを明確にしていきたい。
- 94 教科書に盛り込むといいと思います。
- 95 (一度きりの)リーフレットなどの配布だけで終わることのない、継続的な教育がなされることを期待しております。
- 96 小・中・高を通じて、内容を系統立てて指導することが望ましいと思います。

	<p>97 がんについて、保健の学習や指導の中で扱っていますという程度で、改めて「がん教育」といえるほどの内容ではないかもしれません。指導要領で「がん」を1つの単元として扱わない限り、例にある指導内容で教えるのは難しいと思いました。</p> <p>98 今後授業をやるとなった場合、授業内容他、細かい内容についても学校任せではなく、おおまかなもの(マニュアルやモデルプラン他)を用意してもらいたい。また、外部講師についても、学校が探すのではなく、多く紹介してもらうようにしてほしい。また予算面でも配慮してほしい。</p> <p>99 がんに関する教育は、とても大事だと思う。特に子宮頸がんの予防接種を受けるようになってきたため、その前に教えておく必要を感じる。まずは6年生の保健体育の授業で少しずつ話をひろげていくところから取り組んでいきたい。</p> <p>100 特別に集中してがんだけ取り上げるのではなく、日常の様々な活動や教育の中で少しずつふれていく方が効果的だと思います。</p> <p>101 小学校での指導時期としては、少々早い気がします。生活習慣等の指導をしっかりと行ったうえで、中・高生での実施が理想ではないかと考えます。</p> <p>102 がんになる確率が2人に1人である現状なので、積極的に取り組む必要はあると思います。</p> <p>103 一律の取り組みではなく、学校の実態に合わせて「実施しない」という選択も可能な自由度の高い取り組みを希望します。</p>
生活習慣病・予防	<p>104 子どもたちが健康に成長し、正しい行動選択ができるようにするために、「がん」について知ることはとても意義あることだと思います。生活習慣全般にわたる病気であるため、「がん」を通していろいろなことに気づけるように指導していきたいです。</p> <p>105 がん教育ということばをはじめて聞いたので、指導していない方にはじめ、記入しました。内容を読んでも生活習慣病予防教室や薬物乱用防止教室、保健学習の病気の予防とかぶるところがあるので、指導している方に記入しました。</p> <p>106 健康教育の必要はあると思うが、結果として、がんの事を学べる学習であればよい。いきなり「がん」を前面に出して教育を進めることは相応しくないのでは…</p> <p>107 保健の生活習慣病予防に合わせて、病気の予防として指導しました。</p> <p>108 病気予防の中で位置づけて指導した方が、効果的ではないでしょうか？</p> <p>109 小学生には予防を観点にして指導するのがよいと考える。</p> <p>110 がん教育というくくりでは実施していないが肺がんについてはタバコ（薬物乱用）と関連付けて話をしている。</p> <p>111 保健体育の病気の予防の中に内容を取り入れるとよい。（薬物乱用教室・喫煙防止教室）を実施している。</p> <p>112 がんのみの教育は実施していないが、薬物の講演会、食育の外部講師による授業は実施している。</p> <p>113 教科書で扱っているのが6年だと思うので、他の病気と関連させながら、実施する</p>



のが適当であると思う。

114 「がん教育」としての取り組みではなく、生活習慣病予防や薬物乱用防止、エイズ教育などの中で「がん」にふれて子どもたちに教えています。

115 怖がらせる指導ではなく、生活に気をつけて行く予防を実践していくような指導を望みます。

116 「がん教育」としてがんだけを扱うのではなく、生活習慣病や命の学習の中で扱って、日常生活の行動に生かされるのではないかと思います。

117 「がん」だけを取り上げて教育するのは難しい。現在行っている生活習慣病の1つとして教えて行く方法が適切だと思う。

118 小学校においては、喫煙防止教室においてある程度、がんについて触れているので、それで充分と考える。

119 現在実施している健康教育の中に組み入れる形で実施していけるとよい。(これ以上時間を増やすことは大変なので)

120 病気からではなく、予防することが大事なことで、又発病しても早期なら治ることなどを教えたいと思います。

121 がん教育は行っていないが、薬物乱用予防教育でたばこによるがんについては扱っています。

122 がんそのものの教育というより生活習慣全般の見直し、実践が必要であると思います。(小学校では)

123 小学校では保健学習の中で生活習慣病予防については薬物乱用防止教室でたばこの害等を取り上げているのであえて「がん」のみに焦点を当てた指導は必要なのか疑問が残る。

124 がんは確かに死亡率の高い病気ですがその他の病気等も幅広く取らえた健康教育が必要だと考えます。

125 がん教育としてではなく、「喫煙防止教室」「生活習慣病予防教室」としてその中でがんについて扱っています。

126 タバコ指導の中でがんの危険性の話をしたり、「いのち」の勉強の中でがん患者の方の体験を話してもらうことは、子供たちにとってよい経験になると感じます。

127 6年生の病気の予防(保健)などでチームティーチングとして、養護教諭の立場で話をしたことがあります。外部講師を依頼したいところですが、良い資料や教材があれば活用したい。

128 「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」の学習の中で少し触れる程度の扱いになってしまっている。

129 がん教育といっても、生活習慣病や喫煙防止教育の中で、がんについてふれる程度であり、がんそのものの病態の説明などはしていない

130 小4年生は学活で「生活習慣病予防」の指導の中で、教科書や副読本ではなく、提

示資料を使って、がんにも少しふれています。

- 131 保健(教科)の生活習慣病や薬物乱用防止教室、口腔衛生指導などで「がん」という病気にふれますが、「がん」のみについて教育する時間は取っていません。
- 132 がんの現状や予防などを学校で教育していくのは難しいと思う。
- 133 小学校の段階でがん教育を実施するならば、保健の授業の中のみでよいのではないかと思います。薬物、いのち、歯科、生活習慣、衛生などがメインで十分かと思えます。
- 134 本校では薬物乱用防止教育の一環として「たばこ」を取り扱っております。がんの発病については遺伝によるところも大きく、ワクチンで予防できるがん、生活習慣でリスクを下げることのできるがんについて知ることは大切ですが、早期発見のために検診を積極的に受ける意識を身につけさせることが重要であると思います。
- 135 今、がんは身近な病気であり、早期発見・治療すれば不治の病ではなくなっている。それだけに早いうちからがんに対する正しい知識を持ち、予防等の対策が取れるようにしたい。
- 136 小学校「保健」の授業で、病気の予防・薬物乱用防止・たばこの害等があるが、その中でがんに絞って授業をするということが難しく思います。
- 137 子どもの頃からの生活習慣の積み重ねが原因となっているので、がんだけでなく、肥満や高脂血症、高血圧などの生活習慣病全般について、もっと児童生徒に学ばせたい。
- 138 「たばこ」の教育の中で取り上げればよいと思います。
- 139 小学校では「がん」という病気だけを取り上げて教育するのではなく、自分の健康を守るために生活習慣に気をつけることが大切だという内容で指導した方がよいように思う。
- 140 小学生の頃からがん予防教育をすることは大切だと思います。
- 141 生活習慣を気をつければ予防できるとか早期発見できるとか言えない例も多く見ているので、がんの予防教育というよりは病気の予防としての授業でよいのでは。
- 142 がん教育は重要です。特に予防教育が大切だと思います。
- 143 6年生が保健の学習で「薬物乱用防止」について学んでいる。そこに関連して「がんの予防」について学ぶことは良いことであると思う。ただ、児童に学習をさせても、家庭での環境ということ考えると、児童と保護者を巻き込んだ、「授業参観」のような形での開催が望ましいと思われる。
- 144 がん教育が広く浸透していけば、生活習慣の振り返りにもなると思います。
- 145 がん教育も必要かもしれないが、がん以外にも予防できる病気もあるし、“生活習慣”そのものを改善していくことがまず大切かと思う。できてない現状がある。
- 146 喫煙防止教育の指導を行っている。その中でがん教育にも触れている。がん教育が主ではありません。

	<p>147 小学校では薬物乱用防止教育(たばこの害)と生活習慣病の中で児童にわかりやすくするため説明を行う程度です。</p> <p>148 本校は肥満傾向児が多く、生活習慣病予防の観点からも、がん教育が今後必要なのかもしれないと思いました。</p> <p>149 6年生の保健学習の中に「病気の予防」があり、この単元でがんにもふれる程度でいいと思う。</p> <p>150 必要な事だと思います。生活習慣の中で取り入れられたらと思いますが、今の本校の状況では行っていません。</p> <p>151 私たちは多くの疾病に囲まれて生きていて、ウイルス・最近・疾病のことを深く知ると、恐ろしい気持ち(将来への不安)が先に立ってしまうことがある。小学生ではがんなどにならない健康な身体を作るために、バランスのとれた健康な生活を身につけることが第1の目標だと思う。はじめにがんありきではなく、食事・喫煙その他の生活習慣問題の先に罹るかもしれない疾病の1つとしてがんがあると教えたい。取り上げたい病気はがんに限らず、他にもある気がする。</p> <p>152 母親が便秘がちであると、子どもの排便リズムも乱れがちになり、将来的に大腸がんのリスクにつながるのでは・・・と感じています。「早寝・早起き・朝ごはん」の合言葉にぜひ「朝うんち」を加えていただくと、現場での健康教育がより推進しやすくなります。いろいろなメディアでも取り上げていただくとありがたいです。</p> <p>153 小学生のうちは、生活習慣病としてとらえさせる必要はあると思いますが、特に“がん”にフォーカスするのは難しいように考えます。</p>
その他	<p>154 若年(20から40歳)死亡数としては、自殺の方が多いのでは？</p> <p>155 大規模校でがん教育以前の健康課題もあることから、モデル事業の実施は希望しません。</p> <p>156 他の研修(市の指定)に取り組んでいるため実施は希望しない。</p> <p>157 がんに対する意識化は小学生の段階から必要な事だと感じています。校内の行事精選、調整を図り、がん教育の実施を目指したいと考えています。</p> <p>158 すみません、具体的な必要性などイメージできません。</p> <p>159 アンケート結果を知らせてほしいと思います。</p> <p>160 学校には様々な病気を抱える児童がいます。がんだけでなく他の病気に対しても通じる内容だとよいと思います。</p> <p>161 年1回の健康診断や人間ドックなど検診の重要性を保健センターや医療機関の現場から児童・生徒への啓発活動があれば将来へつなげることができると感じる。</p> <p>162 抗がん剤治療、放射線治療が広く知られているがそのほかにも治療する方法がある(東洋医学的治療)ということも伝えていきたい。方法は1つ2つでなくたくさんあることを理解させたい。</p> <p>163 県下の指導実態は気になりますので調査結果を今後の参考にしたい。</p>

164	がん教育とはどのような目的および内容であるか定義が明確でないためアンケート回答については回答職種によって大きな開きが出るのではないかとと思われる。
165	病気のメカニズムを知り、予防できる手立てを身につけ、実践できる子供を育てることが大切だと思います。
166	私自身がん経験者（6年前に乳がんの手術を受けました）なので、何か子どもたちにこの経験を生かして伝えられることはないか、とずっと考えていますが、何も行動に起こせていません。ぜひ、何か取り組んでいきたいです。
167	小学生にとってがん教育はあまり身近なことではないように思う。
168	がん教育においては、いたずらに恐怖心をあおらないような内容にしたい。
169	がん罹患者の増加は、高齢化社会では当然高くなる。がんの要因は様々で、小学校では難しい。
170	アンケートの結果や実践例等が、わかると指導の参考になります。
171	がん教育は原因が一つではないし、予防法も漠然としているので、子どもたちに恐怖心だけが残るような指導にならないようにしなければいけないと思います。
172	がん教育内容が多すぎませんか？（広すぎ）
173	発達段階にあった内容を伝えることが重要だと思います。
174	子どもたちの発達段階に合わせた教育内容であることを希望いたします。
175	小学生にどの程度の内容が必要か、発達段階を十分考慮して検討してほしい。
176	小学生を対象としたがん予防の教育は無理（理解力の点で）があると思います。社会教育的には家庭への啓発が効果的であると思います。
177	本校では市保健福祉センターの保健師と連携して、就学時健康診断で来校する保護者向けに、子どもの健康だけでなく、家族（親自身）の健康生活のために保健福祉センターの事業説明や検診受診の啓発を呼び掛ける等行っています。
178	予算面でも配慮してほしい。
179	道徳の充実も不可欠。そこでまず、命の大切さをしっかりやっていく。
180	生活習慣病やエイズと違って、ねらいをおくのが難しく、どこまでふれていいのかわからない。種類なのか予防していくことなのか、検診を受ける大切さなのか…。明確にしないと子ども（小）には難しいと思いました。
181	小学生なのであまりインパクトの強い内容は難しいと思う。怖がらせ過ぎても安心させ過ぎてもうまくいかないのでは。中・高校生の方が適しているのではと思います。

**中学校**      実 66件      延 68件

カテゴリー	
本人家族ががんの場合の配慮	<p>1 生徒の中には家族が末期がんで大きな不安を抱えている場合もあるので、御配慮をお願いします。</p> <p>2 実際に家族（両親、祖父母、兄弟・・・他）で罹患している生徒もいるので、少々難しさも</p>

	<p>感じる。</p> <p>3 生徒の家族(祖父母や親など)にがん治療中やがんにより死亡している場合があります。</p> <p>4 がんで近親者をなくした生徒等への心の配慮をお願いしたい。上記の点から、小学生への指導の必要性は疑問を感じる。</p> <p>5 本年度初めて「総合の時間」を使い、命の大切さをメインにがん患者さんによる講演会を行ったが、生徒の中には同じ問題を親に抱える子供がいて、聞くことが難しかった。</p> <p>6 実際に一緒に生活している者ががんの場合があるので、言葉に細心の注意が必要。</p> <p>7 昨年度、末期がんの方を講師に全校集会（特活）を行った。良い反応も多かったが、生徒の認識の違いから、体調不良、精神的に不安定になるなど心的ストレスを受けたようにも思われた。家族内に闘病されている方がいる生徒にとっては、配慮が必要なことと考えるので、問4を③とした。貴重なお話をうかがえた。</p> <p>8 昨年12月、今年1月に保護者ががんで亡くなられています。現在、手術待ちの方もいらっしゃいます。闘病中の方もおいでです。それを考えると、予防教育は必要だと思います。そのような状況の子どもたちがいる中での指導については配慮が必要だと思います。</p> <p>9 生徒の身近な人ががんの患者さん、がんで亡くなった方がいる場合が充分考えられます。その点を配慮する必要があると思います。</p> <p>10 すでに肉親ががんになっていたり、亡くなっている、授業を受けることにより、前向きに生きることができる授業が理想だと思います。</p> <p>11 親のがんの治療中、死亡した生徒、在学生にがんの者がいる場合、どこに焦点を当てた指導を実施すべきかわかりかねる。</p> <p>12 学区付近に国立がんセンターがあり、子どものうちから正しい知識を持つことは良いと思う。家族や持病のある生徒にも配慮された内容を期待します。</p>
教材	<p>13 がん教育に関する資料提供があれば助かります。</p> <p>14 がんに関する中学生向けの資料やポスターがあれば、参考にさせていただきたいです。</p> <p>15 発達段階に応じた教材を作成していただくと授業等で活用できると思います。</p> <p>16 保健体育の授業では少し実施していますが、まだ、がん教育といえるものではありません。学校での指導が定着してから取り組みを進めていきたいと思っています。よい資料がありましたら、いただけると嬉しいです。</p> <p>17 教材（DVD等）があるとより指導しやすいと思います。</p> <p>18 資料（DVDやパワーポイントなど）があれば、誰でも指導できるものがあればよいと思う。</p> <p>19 モデル授業の指導案やDVDがあつたら、参考にしたり活用したい。</p> <p>20 短時間でポイントを押さえたDVDなどの資料があると時間のない中でも機会を見つけて取り入れやすいです。</p> <p>21 文科省から前まで配布されていた「かけがえのない自分、かけがえのない健康」の</p>

	<p>パンフレットが役立つのですが…</p> <p>22 保健体育の視覚教材が VHS が多く、使いづらく、内容が古いものが多い。「がん」の内容の DVD が配布されると授業で活用できる。</p> <p>23 DVD などの教材があればよいと思う。</p> <p>24 時々パンフレットを送ってくださり、ありがとうございます。クラスで配布し、短学活での指導に効果的です。</p> <p>25 わかりやすくまとめられた DVD, パワーポイントによる資料等、すぐに使える教材があると、指導資料として参考にしていきたいです。</p> <p>26 授業実施の際は、家庭に持ち帰れるリーフレットがあると、家族への予防啓発にもなると思いました。</p>
時間	<p>27 保健関係行事(薬物・思春期・生活習慣・歯磨き)など時間が多い。</p> <p>28 本校は学校薬剤師を講師で依頼し、3年生に禁煙教室を実施しているが、その際に肺がん等に触れる程度で、今回の“がん教育”となると取り組むには難しい気がする</p> <p>29 がんに関する健康教育は早期から実施することが大切だと感じるが、授業の中での実施は時間的にとても厳しい状況である。</p> <p>30 現状の教育活動・教育課程の中で「がん」という疾患だけを取り上げて学校教育として行うことは、非常に困難と思われます。</p> <p>31 負担が少ないがん教育であれば、推進のお手伝いをしたい。</p> <p>32 早期教育の必要性は理解するが、より近い将来のための問題（エイズ、薬物乱用防止、いじめ対策など）についての学習に時間をかけざるを得ない。</p> <p>33 どこかで子どもたちに伝えて行く必要はあると思うが、時間が取れないと思う。</p>
外部講師	<p>34 詳しく教えてくれる外部講師の派遣などもあるとよい。</p> <p>35 今年度中に1学年の道徳で、本校保健体育教諭のがん経験者としてのいのちの授業を計画していますが、本人の体調により実施できるか現在未定です。</p> <p>36 柏市では、保健所が中心になって「たばこ」について取り組んでいます。</p>
研修・知識	<p>37 がんについての知識は必要であると思う。</p> <p>38 2人に1人ががんになる確率があるとはいえ、体質遺伝についての説明に難しさを感じます。</p> <p>39 指導者研修があれば、参加してみたい。</p>
教育課程	<p>40 がんの現状、予防、健診の重要性などとても大事なことで知識として、伝えて行かなければならないものと思いますが、がんの種類(部位)も様々で、若年に発症するものもあり、どの程度の説明をしていったらいいのか？</p> <p>41 「がん教育」とはどこまでの内容を扱うものなのかその基準らしきものがわかりません。</p> <p>42 保健学習で扱うことと、がん教育として扱うことをどのようにとらえるか考える必要があると思います。</p>

	<p>43 学習指導要領により深めた内容（たとえば「命」を考える内容）を指導することになると、児童生徒の中のがんで亡くなった家族がいる場合もあるため、指導が難しくなる。指導する内容や範囲、方向性をよく考えなければならないと思う。</p> <p>44 体力向上、基礎力UPなど、様々な取り組みをしなければいけない現状では、どのように取り入れていけばよいのか不安です。</p> <p>45 がん単独での授業は難しいので、他の疾病と併せて授業を行う方が扱いやすいと思います。</p> <p>46 中学校では保健体育で取り上げることになるかと思われ、教科書の改定も必要だと思う。</p> <p>47 学校では教科にきちんと位置付けられていないものの指導はなかなか困難です。実施するのであれば、教科書にも入れる等、教員が使いやすくするための対策も必要だと思います。</p> <p>48 特別な時間を作って、特別な講師を頼んで指導するのではなく、日常的に、短学活や体育の授業、理科の授業などで教師が話ができればよいのではないかと思う。</p> <p>49 どこまでをがん教育と、とらえればよいかわかりにくい。肺がんについては薬物乱用防止教育の中で、子宮頸がんについては中1女子に、他生活習慣病予防健診前の指導でもがんについてふれています。</p>
生活習慣病・予防	<p>50 がんの致死率が高いが、原因は遺伝もあり、不確定なところが多いのではないかと。生活習慣病予防の中で何か触れることは良いと思う。</p> <p>51 たばこの害を話す際、がんは切り離せない。子どもたちもその時の話には興味を持つので、そこからがん教育につなげたい。</p> <p>52 がんといってもさまざまである。たばこが原因となり得るものは中学1年次に薬物乱用防止教室の中で行っているが、他の者については予防できるものとそうでないものがある。どのがんに着目するかによって対象学年も異なると思う。</p> <p>53 生活習慣は家庭の協力がなければ確率はできません。保護者が参観できる機会があり、家庭で取り組んでいくきっかけになるような授業ができるといいです。</p> <p>54 1年生は11月に生活習慣病に関する指導(成人病の1つとしてがんに関する内容)を当市の給食センター栄養士が行う。3年生は保健体育の授業でがんに関する教育を実施している。</p> <p>55 生活習慣病予防の一環としてがん予防につなげる</p> <p>56 学校でも生活習慣病検診を実施して予防教育をしているが、がんについては直接学習していない現状にある。正しい知識を持つためにも必要だと思う。</p> <p>57 日本人の死因第1位であるがんについて、その予防等について中学生のうちに学ぶことは大切だと思います。保健体育だけでなく家庭科の食生活のところでふれることや給食でがん予防メニューなど工夫できるといいなと感じました。</p> <p>58 がん教育単独としてでなく、たばこでの受動喫煙の影響としてのがんに関する学習</p>

	<p>も行っています。</p> <p>59 タバコに関係したがんの話と子宮頸がんに関する話は話をする機会がありますが、その他はないのが現状です。</p> <p>60 がんになる確率は2人に1人。生活習慣につなげることである程度予防ができることなので、子どものうちから意識づけて行くことが重要だと考えています。</p> <p>61 「がん教育」と位置付けて実施しているわけではなく、1年、3年には生活習慣病予防指導の中で日本の現状を伝え、3年生には思春期講演会の中で子宮頸がんの予防について、また、薬物乱用予防指導の中でたばこの害についてふれる程度です。</p> <p>62 本校では毎年2年生を対象に、喫煙防止教室を開いており、その際喫煙の害として肺がんについては触れている。</p> <p>63 3年生は「生活習慣病の予防」ということで学習しています。また、本校では健康講座を3学年同時に行い、その中で1年生は「喫煙の害」の中で「がん」についてふれています。</p> <p>64 「がん」は怖くて恐ろしいと思っている生徒へ生活習慣の改善で予防できるものであると「がん」について正しい知識を与えたいと思います。</p> <p>65 死亡原因の第1位であり、がん患者を非常に近いところに持つ生徒もいておかしくない状況なので、内容の取扱いに難しさを感じる面もあります。たばこや予防接種、早期発見の必要性とその方法等は知らせていく必要があると思います。</p> <p>66 「がん教育」というものがどの程度を意図しているのかわからなかったため、生活習慣病予防教室や薬物乱用防止教室等でふれた指導のものと回答しました。</p> <p>67 「がん教育」としては教えていませんが、保健体育の授業の中の生活習慣病の中でがんについて少しふれています。</p>
その他	<p>68 がんにならないことが一番ですが、がんになることは充分考えられます。どんな病気であっても、生徒たちが治療方法等々、自分で考え学び選択していく姿勢を持って生活して欲しいと思っています。</p>

### 高等学校

実 13件 延 14件

カテゴリー	意見
本人・家族ががんの場合の配慮	1 悪性腫瘍の治療後に入学してくる生徒もいるので、実施には配慮が必要だと思われる。
教材	<p>2 がんになった時の治療費や国からの補助金、ホスピス、国・地方の体制について分かりやすい資料があったらよい。</p> <p>3 教科書以外に自作プリントを作成して授業を行っている。</p> <p>4 生徒の興味をひくようなDVD教材があるとありがたいです。</p>
時間	5 生徒は、がんという名前や難病であるということは知っています。それ以外に限られた



	<p>時間の中でどの部分に焦点をあてて指導していくのがよいのか、考えて行く必要があると思います。</p>
外部講師	<p>6 がんのみということだけでなく、生活習慣病予防という内容で生徒にお話し（こうえん）をしていただける専門医の紹介と費用の援助を希望します。</p>
生活習慣病・ 予防	<p>7 がんとの関連が強いと思われる喫煙について、昨年度行った調査では学校(家庭)により家族の喫煙率に大きな差がみられました。モデル事業の推進がより効果的に行われることを期待します。</p> <p>8 本校では、1 年次生全員を対象に LHR(50 分)を利用した外部講師による薬物乱用教室を毎年 1 回実施しております。その時にタバコによる肺の汚れ等、体験型講義の中で肺がんの話はしておりますが、単独でのがん教育を実施するとしても、LHR での 1 回が限度と思われる。</p> <p>9 生活習慣と健康に関しては、今後、子どもたちにとっては大切であります。</p>
その他	<p>10 よりよい人生を送るために、生徒に身近な事例とともに高い意識を持たせて考えさせたい。</p> <p>11 がんに限らないが、自分自身の健康に関心を持ち、大人になったら早期発見のために定期健康診断を受けるような教育ができたらいいと思っている。また親にも子どもの健康に関心を持ってもらいたいと思う。</p> <p>12 問 3 の 3 はほとんど高校の保健の授業で取り扱う内容であると思われる。がん教育だけでなく、命の大切さを学ぶ事や福祉医療介護教育などにつなげることもよいのかと思う。</p> <p>13 全校生徒を対象としたものではなく、保健の授業等でクラス単位での教育を実施できるのであれば、モデル事業の実施を希望したいです。</p> <p>14 本校では平成 26 年度より理数課の設置や SSH の指定校であることから、がん対策推進の指定校というのには負担が大きい事が懸念されます。がん予防教育には一層の充実を図りたいと考えますが、指定校についてはその旨、御配慮のほどお願いいたします。</p>